

平成29～33年度
L P ガ ス 需 要 見 通 し

平成29年3月

石油製品需要想定検討会
液化石油ガスWG

LPガス需要見通し

(単位：千トン)

年度 部門	実 績											実 勢			見 通 し																													
	22				23				24			25			26			27			28			29				30			31			32			33							
	年 度											上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度	年 度																				
期 初 在 庫	224	282	187	242	310	755	310	306	587	306	310																																	
備 蓄	1,466	1,549	1,582	1,739	1,509	1,503	1,509	1,500	1,476	1,500	1,408																																	
石 油 精 製	4,112	3,431	3,283	3,749	1,741	1,539	3,280	1,862	1,474	3,336	1,714																																	
石 油 化 学	354	224	264	243	121	138	259	144	165	309	194																																	
輸 入	12,332	12,633	13,189	11,408	5,454	6,058	11,512	4,776	5,766	10,542	4,929																																	
供 給 計	16,798	16,288	16,736	15,400	7,316	7,735	15,051	6,782	7,405	14,187	6,837																																	
家庭業務用	7,312	7,134	6,811	6,631	2,601	3,934	6,535	2,495	3,802	6,297	2,434	3,824	6,258	2,335	3,659	5,994	5,970	5,923	5,813	5,757																								
一般工業用	3,453	3,228	3,082	2,972	1,296	1,499	2,795	1,475	1,473	2,948	1,540	1,426	2,966	1,494	1,510	3,004	3,105	3,125	3,152	3,186																								
都市ガス用	904	1,008	1,036	1,093	526	641	1,167	466	498	964	391	512	903	488	566	1,054	1,239	1,331	1,429	1,483																								
自動車用	1,370	1,295	1,231	1,177	563	547	1,110	533	512	1,045	504	509	1,013	494	494	988	965	944	925	908																								
一般用計	13,039	12,665	12,160	11,873	4,986	6,621	11,607	4,969	6,285	11,254	4,869	6,271	11,140	4,811	6,229	11,040	11,279	11,323	11,319	11,334																								
大口鉄鋼用	142	88	117	65	41	47	88	62	47	109	64	32	96	43	43	86	86	86	86	86																								
化学原料用	2,819	2,583	2,518	2,947	1,636	1,402	3,038	1,334	1,364	2,698	1,296	1,393	2,689	1,401	1,492	2,893	2,950	2,934	2,907	2,878																								
電力用	306	958	1,546	653	188	112	300	128	40	168	89	194	283																															
輸 出	160	60	201	36	37	11	48	32	19	51	79	79																																
特殊用計	3,427	3,689	4,382	3,701	1,902	1,572	3,474	1,556	1,470	3,026	1,528	1,619	3,147	1,444	1,535	2,979	3,036	3,020	2,993	2,964																								
需要合計	16,466	16,354	16,542	15,574	6,888	8,193	15,081	6,525	7,755	14,280	6,397	7,890	14,287	6,255	7,764	14,019	14,315	14,343	14,312	14,298																								
減 耗	191	-4	-18	-12	-11	-6	-17	0	-5	-5	-90	-90																																
期 末 在 庫	282	187	242	310	755	306	306	587	310	310	870																																	
備 蓄	1,549	1,582	1,739	1,509	1,503	1,500	1,500	1,476	1,408	1,408	1,378																																	
備蓄日数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50																															

経済諸指標

(単位：10億円、ポイント)

国内総生産	491,791	498,622	507,382	522,807	515,524	519,528	517,526	523,821	522,876	523,348	527,258	529,896	528,577	534,186	537,925	536,056	543,789	553,698	563,833	574,305
民間最終消費支出	369,011	374,578	381,769	393,395	386,674	389,636	388,155	393,242	391,437	392,339	395,224	397,111	396,167	400,152	402,809	401,481	406,570	414,112	422,062	430,366
鉱工業生産指数	99.4	98.8	95.8	99.0	97.8	99.1	98.4	96.9	97.9	97.4	96.3	100.5	98.4	99.2	102.8	101.0	102.4	104.0	106.0	108.2

(平成22年基準)

(平成28年度実勢)

LPガス輸入価格が年度平均で最高値だったのは、プロパンでは平成24年度（887ドル/トン）、ブタンでは平成23年度（916ドル/トン）であり、この後は下降を続け、平成28年度のLPガス輸入価格は、年度平均でプロパンが365ドル/トン、ブタンが412ドル/トンと、平成27年度に続き安価な傾向にて推移した。その背景には、原油価格の下落に伴う追従に加え、米国産シェール由来LPガスの市場流入拡大による影響が考えられる。原油の指標であるアラビアンライト価格を熱量等価換算と比較すると、平成28年度平均値（※）はプロパン97.9%、ブタン111.8%となるが、原油より割安が続いた上期と一転して割高となった下期では情勢が異なる結果となった。

需要量をみると、上期は一般工業用および大口鉄鋼用が対前年同期比を上回ったものの、その他の部門では対前年同期比を割り込み、上期全部門合計でも対前年同期比を下回った。下期においては、家庭業務用・都市ガス用・化学原料用の3部門が対前年同期比を上回り、下期全部門合計では対前年同期比は横ばいであった。

この結果、電力用および輸出を除く国内需要は、上期で対前年同期比2.1%減少の6,229千トン、下期は対前年同期比で横ばいの7,696千トン、年度ベースでは対前年度比1.0%減少の13,925千トンと、昨年度より136千トン減少し、昭和58年度以来となる14,000千トン台を割り込む見込みとなった。
(※ 熱量等価換算は、年度平均CPとAL価格により算出)

<平成29年度>

需要動向を分野別に見ると、一般工業用・都市ガス用・化学原料用が伸びる予測となっている。一般工業用は、鉱工業生産指数に連動して、緩やかではあるが需要の回復が期待される。都市ガス用は、低熱量の米国産シェール由来LNGの輸入本格化に伴い、増熱用として使用されるLPガスの需要増が期待される。化学原料用は、エチレン生産量およびエチレン原料用としてのLPガス使用割合の増加により、需要増となる見込み。一方、LPガス需要量の4割強を占める基幹分野である家庭業務用は、他エネルギーとの競合や都市部への人口移動等によるLPガス世帯数の減少、省エネ機器の普及等により、需要減を見込む。

電力用については、電力会社による電力需給計画が未策定であること等の理由により、見通しを立てていない。

LPガス需要見通し(伸率)

(単位：%)

年度 部門	実 績									実 勢			見 通 し							年率 28~33			
	22	23	24	25	26			27			28			29			30	31	32		33		
	年 度				上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度	年 度						
期 初 在 庫																							
備 蓄																							
石 油 精 製	93.2	83.4	95.7	114.2	86.1	89.2	87.5	107.0	95.8	101.7	92.1												
石 油 化 学	115.7	63.3	117.9	92.0	121.0	96.5	106.6	119.0	119.6	119.3	134.7												
輸 入	106.3	102.4	104.4	86.5	104.5	97.9	100.9	87.6	95.2	91.6	103.2												
供 給 計	103.0	97.0	102.8	92.0	99.7	96.0	97.7	92.7	95.7	94.3	100.8												
家庭業務用	102.2	97.6	95.5	97.4	99.1	98.2	98.6	95.9	96.6	96.4	97.6	100.6	99.4	95.9	95.7	95.8	99.6	99.2	98.1	99.0	98.3		
一般工業用	98.4	93.5	95.5	96.4	89.9	98.0	94.0	113.8	98.3	105.5	104.4	96.8	100.6	97.0	105.9	101.3	103.4	100.6	100.9	101.1	101.4		
都市ガス用	110.4	111.5	102.8	105.5	113.1	102.1	106.8	88.6	77.7	82.6	83.9	102.8	93.7	124.8	110.5	116.7	117.6	107.4	107.4	103.8	110.4		
自動車用	97.2	94.5	95.1	95.6	94.6	94.0	94.3	94.7	93.6	94.1	94.6	99.4	96.9	98.0	97.1	97.5	97.7	97.8	98.0	98.2	97.8		
一般用計	101.1	97.1	96.0	97.6	97.2	98.1	97.8	99.7	94.9	97.0	98.0	99.8	99.0	98.8	99.3	99.1	102.2	100.4	100.0	100.1	100.3		
大口鉄鋼用	111.8	62.0	133.0	55.6	107.9	174.1	135.4	151.2	100.0	123.9	103.2	68.1	88.1	67.2	134.4	89.6	100.0	100.0	100.0	100.0	97.8		
化学原料用	86.3	91.6	97.5	117.0	106.5	99.4	103.1	81.5	97.3	88.8	97.2	102.1	99.7	108.1	107.1	107.6	102.0	99.5	99.1	99.0	101.4		
電力用	98.1	313.1	161.4	42.2	54.3	36.5	45.9	68.1	35.7	56.0	69.5	485.0	168.5										
輸 出	80.4	37.5	335.0	17.9	119.4	220.0	133.3	86.5	172.7	106.3	246.9		154.9										
特殊用計	87.7	107.6	118.8	84.5	97.5	89.8	93.9	81.8	93.5	87.1	98.2	110.1	104.0	94.5	94.8	94.7	101.9	99.5	99.1	99.0	98.8		
需要合計	98.0	99.3	101.1	94.1	97.3	96.4	96.8	94.7	94.7	94.7	98.0	101.7	100.0	97.8	98.4	98.1	102.1	100.2	99.8	99.9	100.0		

経済諸指標

(単位：%)

国内総生産	102.4	101.4	101.8	103.0	99.3	98.6	99.0	101.6	100.6	101.1	100.7	101.3	101.0	101.3	101.5	101.4	101.4	101.8	101.8	101.9	
民間最終消費支出	103.2	101.5	101.9	103.0	99.1	98.2	98.7	101.7	100.5	101.1	100.5	101.4	101.0	101.2	101.4	101.3	101.3	101.9	101.9	102.0	
鉱工業生産指数	108.8	99.3	97.0	103.3	100.9	98.1	99.5	99.1	98.8	99.0	99.3	102.7	101.0	103.1	102.3	102.7	101.4	101.6	101.8	102.1	

<平成30~33年度>

平成30年度以降については、平年ベースの気候および現状の輸入価格体系維持を前提とすれば、家庭業務用・自動車用では需要の減少が見込まれるが、一般工業用・都市ガス用の需要増加が見込まれ、特に都市ガス用が牽引する形でLPガス全体の需要は微増で推移する見通しである。

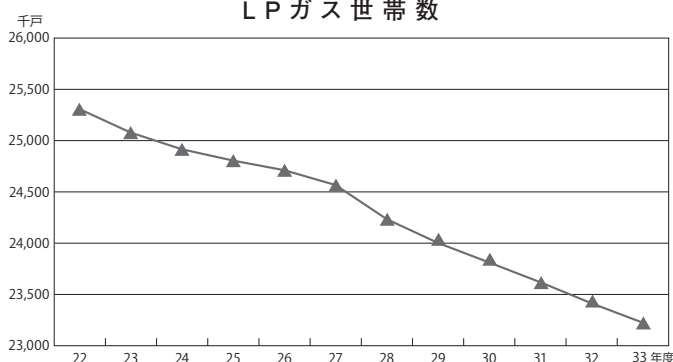
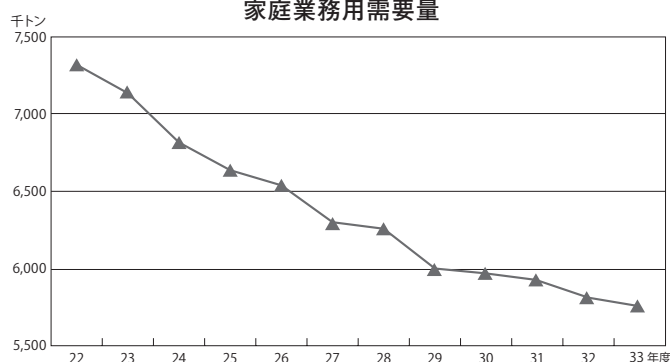
一般工業用では、景気回復に伴う生産活動の活発化や他燃料からLPガスへの燃料転換の進展等が予測されることから、需要の増加を見込む。都市ガス用は、工業用を中心とした都市ガス販売量の増加が予測され、加えて低カロリーLNGの輸入増加から増熱用需要としてのLPガスの使用増加を見込む。一方、家庭業務用は、他エネルギーとの競合や都市部への人口移動等によるLPガス世帯数の減少、高効率ガス器具への転換等が減少要因となり、需要は微減傾向で推移することを見込む。自動車用においては、タクシー登録台数の減少、新型車種も含めたLPガスハイブリッド車の導入等による消費原単位の低下が着実に進み、需要は減少傾向で推移することを見込む。化学原料用では、エチレン用原料としての需要は増加傾向、プロピレン用となるFCC装置から生産されるプロパンは減少傾向で推移していき、化学原料用全体としては平成30年度をピークに増加し、その後は緩やかに減少していく見込み。

家 庭 ・ 業 務 用

年度 部門	単位	22	23	24	25	26		27			28			29			30	31	32	33	28-33 年率	
		年 度				上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度	年 度				
LPガス 需要量	千トン	7,312	7,134	6,811	6,631	2,601	3,934	6,535	2,495	3,802	6,297	2,434	3,824	6,258	2,335	3,659	5,994	5,970	5,923	5,813	5,757	98.3
同伸率	%	102.2	97.6	95.5	97.4	99.1	98.2	98.6	95.9	96.6	96.4	97.6	100.6	99.4	95.9	95.7	95.8	99.6	99.2	98.1	99.0	
家庭用	千トン	5,001	4,860	4,581	4,449	1,658	2,781	4,439	1,551	2,657	4,208	1,511	2,697	4,208	1,457	2,574	4,031	3,968	3,929	3,854	3,801	98.0
同伸率	%	103.7	97.2	94.3	97.1	99.8	99.8	99.8	93.5	95.5	94.8	97.4	101.5	100.0	96.4	95.4	95.8	98.4	99.0	98.1	98.6	
家庭 需要家数	千戸	25,286	25,055	24,902	24,784	24,754	24,643	24,699	24,686	24,439	24,563	24,343	24,069	24,206	24,111	23,917	24,014	23,818	23,623	23,428	23,228	99.2
同伸率	%	100.0	99.1	99.4	99.5	99.7	99.6	99.7	99.7	99.2	99.4	98.6	98.5	98.5	99.0	99.4	99.2	99.2	99.2	99.2	99.1	
家庭用 原単位	Kg	198.0	194.2	184.1	179.6	67.0	112.9	179.8	62.8	108.7	171.5	62.1	112.1	174.1	60.4	107.6	168.1	166.6	166.3	164.5	163.6	98.8
同伸率	%	103.7	98.1	94.8	97.6	100.1	100.1	100.1	93.8	96.3	95.4	98.8	103.1	101.5	97.4	96.0	96.5	99.1	99.8	98.9	99.5	
業務用	千トン	2,311	2,274	2,230	2,182	943	1,153	2,096	944	1,145	2,089	923	1,127	2,050	878	1,085	1,963	2,002	1,994	1,959	1,956	99.1
同伸率	%	99.2	98.4	98.1	97.8	97.9	94.6	96.1	100.1	99.3	99.7	97.8	98.4	98.1	95.1	96.3	95.8	102.0	99.6	98.2	99.8	
業務用 需要家数	千戸	995.1	981.1	976.7	964.4	956.3	946.7	951.5	937.3	930.8	934.1	923.0	923.0	923.0	923.0	923.0	923.0	923.0	923.0	923.1	923.1	100.0
同伸率	%	101.2	98.6	99.6	98.7	98.8	98.5	98.7	98.0	98.3	98.2	98.5	99.2	98.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
業務用 原単位	Kg	2,322.4	2,317.8	2,283.2	2,262.5	986.1	1,218.0	2,202.9	1,007.1	1,230.1	2,236.5	1,000.0	1,221.0	2,221.0	951.2	1,175.5	2,126.7	2,168.9	2,160.2	2,122.3	2,119.0	99.1
同伸率	%	98.0	99.8	98.5	99.1	99.1	96.0	97.4	102.1	101.0	101.5	99.3	99.3	99.3	95.1	96.3	95.8	102.0	99.6	98.2	99.8	
器具普及率	風呂	%	56.5	56.6	56.8	57.0	57.2	57.1	57.2	57.0	56.8	56.9	56.6	56.7	56.7	56.9	57.0	57.0	57.3	57.7	58.1	58.4
	湯沸器	%	43.7	44.0	44.8	44.9	45.0	44.9	45.0	44.8	44.5	44.7	44.2	44.2	44.2	44.1	44.0	44.1	43.9	43.6	43.2	42.9
	炊飯器	%	12.4	12.1	10.8	10.2	9.7	9.4	9.6	9.1	8.8	9.0	8.5	8.3	8.4	8.1	7.9	8.0	7.6	7.2	6.9	6.7

家庭業務用需要量

LPガス世帯数



家庭業務用

◎家庭用

平成28年度(実勢)は、冬場の寒波の影響がプラス要素として需要に織り込まれていることで前年度と横ばいで推移するが、平成29年度以降においては、平年並みの気温で想定を行っていること、その他家庭における省エネ・節エネ傾向の継続や世帯数の減少に加え、LPガス器具における既存の需要家による高効率ガス器具への転換が進展することが予測される。このため一家庭あたりの原単位は、平成28年度173.8kgから、平成33年度163.6kgに減少すると見込んだ。

この結果、家庭用需要は平成33年度で3,801千トンとなり、平成28～33年度の年平均伸び率は98.0%を見込む。

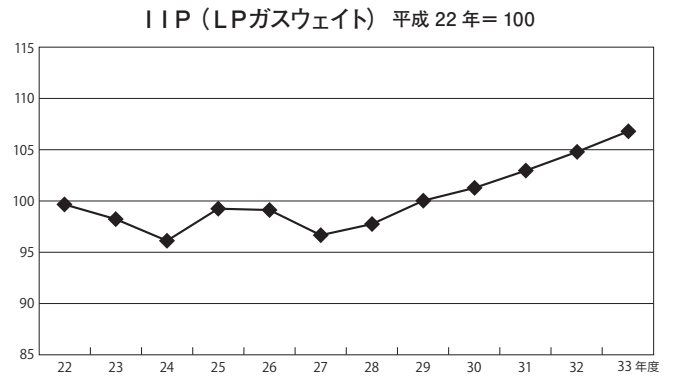
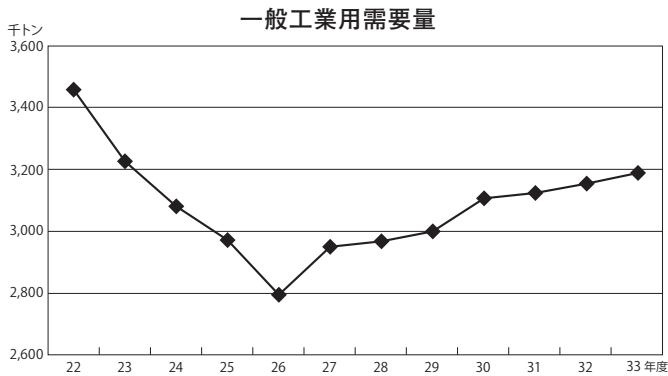
◎業務用

一般業務用の需要家件数は、今後の経済回復基調の動向等によるものの、概ね横ばいで推移することが予測され、需要量も横ばいで推移することを見込む。またGHP分野においては、平成12年度をピークにGHP出荷台数は減少傾向で推移し、平成22年にはピーク時の約15%まで減少した。東日本大震災以降の電力のピークカット対策や政府による導入補助金の実施等からGHPの出荷台数は多少の増加傾向にあるが、平成28年度現在でもピーク時の約32%にとどまっていること、GHPの大型化が進み燃費効率が改善される傾向等が予測されることから、平成29年度以降GHP需要量は減少傾向で推移することが見込まれる。業務用全体としては、平成28～33年度の年平均伸び率は99.1%で推移し、平成33年度は1,956千トンを見込む。

この結果、上記の合算である家庭業務用の需要量は、平成28年度は6,258千トン、平成33年度では5,757千トンとなり、平成28～33年度の年平均伸び率は98.3%を見込む。

一 般 工 業 用

部門	年度 単位	22	23	24	25	26			27			28			29			30	31	32	33	28-33 年率
		年 度				上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度	年 度				
LPガス 需 要 量	千トン	3,453	3,228	3,082	2,972	1,296	1,499	2,795	1,475	1,473	2,948	1,540	1,426	2,966	1,494	1,510	3,004	3,105	3,125	3,152	3,186	
同 伸 率	%	98.4	93.5	95.5	96.4	89.9	98.0	94.0	113.8	98.3	105.5	104.4	96.8	100.6	97.0	105.9	101.3	103.4	100.6	100.9	101.1	101.4
鋳工業 生産指数 (LPGウェイト)	22年 =100	99.6	98.2	96.0	99.2	98.8	99.2	99.0	96.6	96.8	96.7	95.8	99.6	97.7	98.7	101.1	99.9	101.3	102.8	104.6	106.7	
同 伸 率	%	110.7	98.5	97.8	103.3	101.4	98.2	99.8	97.8	97.6	97.7	99.2	102.9	101.1	103.0	101.5	102.2	101.4	101.5	101.8	102.0	101.8
I I P (ポイント当り)	千トン	34.7	32.9	32.1	30.0	13.1	15.1	28.2	15.3	15.2	30.5	16.1	14.3	30.4	15.1	14.9	30.1	30.7	30.4	30.1	29.8	
同 伸 率	%	88.9	94.9	97.6	93.4	88.6	99.8	94.3	116.4	100.7	108.0	105.2	94.1	99.5	94.2	104.4	99.1	101.9	99.1	99.1	99.1	99.7



一 般 工 業 用

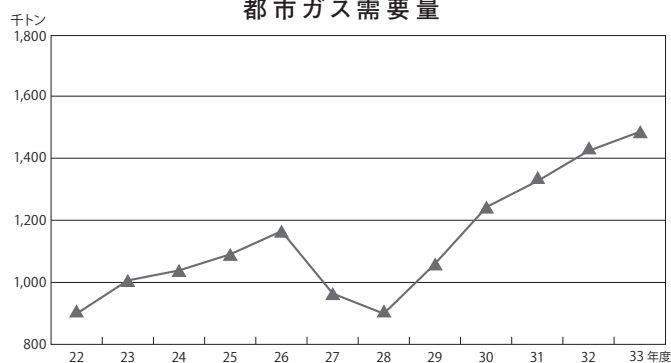
平成29年度以降は、経済の回復基調の持続、LPガスを多く利用する食品加工業等の伸びが予測されること、また環境政策の推進により、他燃料からの燃料転換が期待できること等から、微増傾向で推移することを見込む。

この結果、平成33年度の需要量は3,186千トンとなり、平成28～33年度の平均伸び率101.4%を見込む。

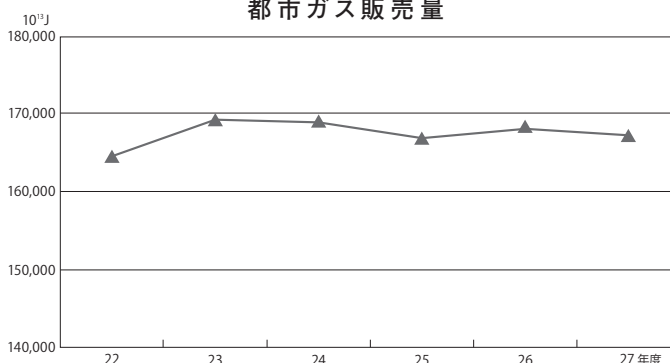
都 市 ガ ス 用

年度 部門	単位	22	23	24	25	26			27			28			29			30	31	32	33	28~33 年率
		年 度				上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度	年 度				
LPガス 需要量	千トン	904	1,008	1,036	1,093	526	641	1,167	466	498	964	391	512	903	488	566	1,054	1,239	1,331	1,429	1,483	
同伸率	%	110.4	111.5	102.8	105.5	113.1	102.1	106.8	88.6	77.7	82.6	83.9	102.8	93.7	124.8	110.5	116.7	117.6	107.4	107.4	103.8	110.4
都市ガス 販売量	10 ³ J	164,367	169,065	168,833	166,683	77,614	90,522	168,137	77,610	89,458	167,067	79,226										
同伸率	%	106.3	102.9	99.9	98.7	101.9	100.0	100.9	100.0	98.8	99.4	102.1										
原料 構成 比	LPガス	%	3.2	3.4	3.5	3.7	4.0	3.9	3.9	3.5	3.1	3.3	2.9									
	LNG	%	96.8	96.6	96.5	96.3	96.0	96.1	96.1	96.5	96.9	96.7	97.1									

都市ガス需要量



都市ガス販売量



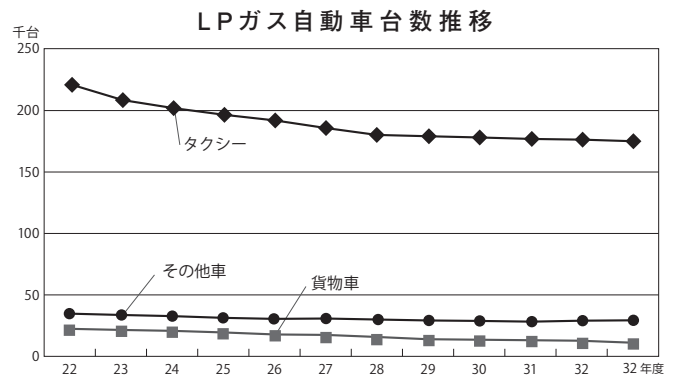
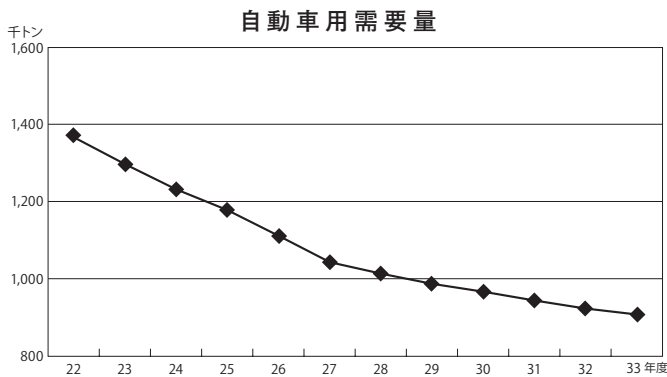
都市ガス用

平成27年9月より、一部都市ガス会社の都市ガス標準熱量が引き下げられ、平成27～28年度の増熱用LPガスの需要量は減少した。平成29年度においては、熱量調整による対前年度比としての減少分は一巡したことになる。一方で工業用を中心とした都市ガス販売量の増加が予測され、加えて米国産シェール由来の低カロリー LNGの輸入本格化に伴い、原料構成比に占めるLPガスの割合が増すことから、都市ガス用として使用される増熱用LPガス需要の増加を見込む。

この結果、平成33年度の需要量は1,483千トンとなり、平成28～33年度の年平均伸び率110.4%を見込む。

自 動 車 用

部門	年度 単位	22	23	24	25	26		27		28		29		30	31	32	33	28-33 年率					
		年度				上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度	年 度								
タク シー	台 数	千台	219.6	207.7	201.0	195.5	191.4	188.7	190.1	185.9	183.3	184.6	180.5	177.8	179.1	178.4	177.9	178.1	177.1	176.1	175.1	174.1	99.4
	実働率	%	81.19	80.64	78.54	77.76	70.67	70.67	70.67	70.48	74.03	72.26	70.52	70.56	70.54	70.58	70.62	70.60	70.64	70.68	70.72	70.76	
	原単位	トン/年	6.412	6.431	6.360	6.270	3.719	3.651	7.370	3.359	3.354	6.712	3.363	3.435	6.799	3.328	3.336	6.664	6.546	6.434	6.338	6.249	
	需要量	千トン	1,143	1,077	1,004	953	503	487	990	440	455	895	428	431	859	419	419	838	819	801	785	770	97.8
	伸 率	%	94.7	94.2	93.2	94.9	105.0	102.7	103.9	87.5	93.4	90.4	97.3	94.7	96.0	97.9	97.2	97.6	97.7	97.8	98.0	98.1	
貨物車	台 数	千台	21.2	20.3	19.4	18.4	17.5	16.8	17.2	16.1	15.4	15.7	14.4	14.4	14.4	13.7	13.2	13.5	12.6	11.7	10.9	10.2	93.3
	原単位	トン/年	3.480	3.407	3.405	3.408	1.711	1.724	3.435	1.678	1.689	3.367	1.662	1.731	3.394	1.674	1.741	3.414	3.420	3.410	3.380	3.426	
	需要量	千トン	74	69	66	63	30	29	59	27	26	53	24	25	49	23	23	46	43	40	37	35	93.5
	伸 率	%	98.1	93.8	95.2	94.8	94.6	93.9	94.2	90.0	89.7	89.8	88.9	96.2	92.5	95.8	92.0	93.9	93.5	93.0	92.5	94.6	
	そ の 他 車	台 数	千台	33.6	32.8	32.0	31.1	31.0	30.6	30.8	30.3	30.1	30.2	29.5	29.5	29.5	29.1	29.1	29.1	28.9	28.8	28.8	28.8
原単位		トン/年	4.557	4.541	5.024	5.169	0.968	1.012	1.980	2.175	1.029	3.204	1.766	1.799	3.565	1.784	1.784	3.569	3.561	3.577	3.581	3.574	
需要量		千トン	153	149	161	161	30	31	61	66	31	97	52	53	105	52	52	104	103	103	103	103	99.6
伸 率		%	120.5	97.4	108.1	100.0	35.7	40.3	37.9	220.0	100.0	159.0	78.8	171.0	108.2	100.0	98.1	99.0	99.0	100.0	100.0	100.0	
合 計		台 数	千台	274.4	260.8	252.4	245.0	239.9	236.2	238.1	232.3	228.8	230.5	224.3	221.7	223.0	221.3	220.2	220.7	218.6	216.7	214.8	213.2
	伸 率	%	97.1	95.1	96.8	97.1	97.3	97.1	97.2	96.8	96.9	96.8	96.6	96.9	96.7	98.6	99.3	99.0	99.0	99.1	99.2	99.2	
	需要量	千トン	1,370	1,295	1,231	1,177	563	547	1,110	533	512	1,045	504	509	1,013	494	494	988	965	944	925	908	97.8
	伸 率	%	97.2	94.6	95.0	95.6	94.7	94.0	94.3	94.7	93.6	94.1	94.6	99.4	96.9	98.0	97.1	97.5	97.7	97.8	98.0	98.2	



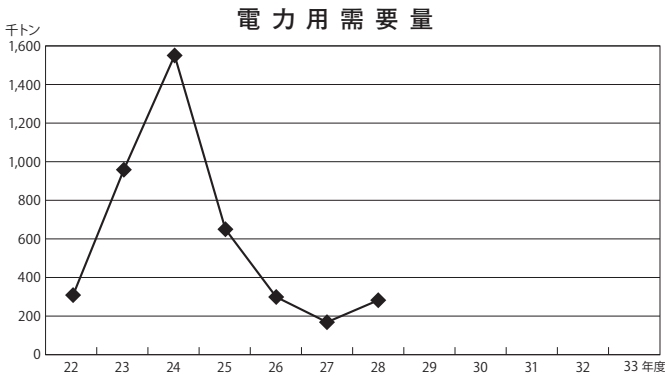
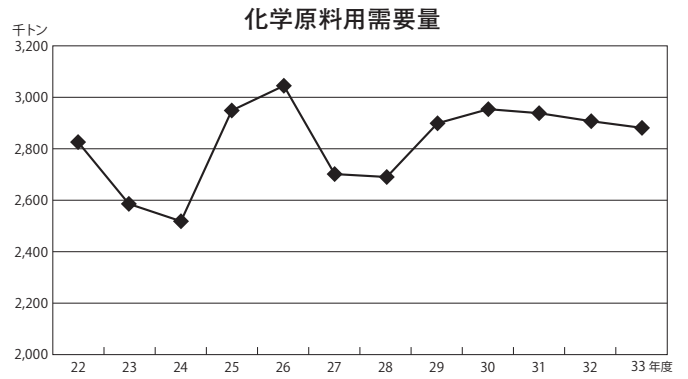
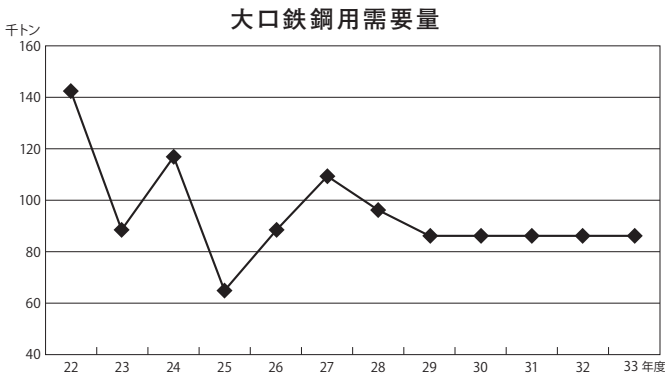
自 動 車 用

平成29年度以降のLPガス自動車台数について、軽自動車・バイフューエル車の台数は微増するが、LPガス自動車の約8割を占めるタクシーや貨物車等は減少することが予測され、トータルで見ても緩やかながら漸減が予想される。また燃費効率に優れた新車種（LPガスハイブリッド車）の新規市場投入も予定されており、車両の買い替えやエンジンの燃費向上等による消費原単位の減少といった要因もあり、需要の減少を見込む。

この結果、平成33年度の需要量は908千トンとなり、平成28～33年度の年平均伸び率は97.8%を見込む。

特 殊 用

部門	年度 単位	22	23	24	25	26			27			28			29			30	31	32	33	28~33 年率
		年 度				上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	下期	年度	年 度				
大口鉄鋼用	千トン	142	88	117	65	41	47	88	62	47	109	64	32	96	43	43	86	86	86	86		
同伸率	%	111.8	62.0	133.0	55.6	107.9	174.1	135.4	151.2	100.0	123.9	103.2	68.1	88.1	67.2	134.4	89.6	100.0	100.0	100.0	100.0	97.8
化学原料用	千トン	2,819	2,583	2,518	2,947	1,636	1,402	3,038	1,334	1,364	2,698	1,296	1,393	2,689	1,401	1,492	2,893	2,950	2,934	2,907	2,878	
同伸率	%	86.3	91.6	97.5	117.0	106.5	99.4	103.1	81.5	97.3	88.8	97.2	102.1	99.7	108.1	107.1	107.6	102.0	99.5	99.1	99.0	101.4
電力用	千トン	306	958	1,546	653	188	112	300	128	40	168	89	194	283								
同伸率	%	98.1	313.1	161.4	42.2	54.3	36.5	45.9	68.1	35.7	56.0	69.5	485.0	168.5								



大口鉄鋼用

同分野については、元売各社の納入計画の数量を積み上げて想定を行った。平成29年度以降、86千トンで推移することを見込む。

化学原料用

化学原料用は、エチレン用・プロピレン用・無水マレイン酸用・その他用に区分され、極めて価格動向に反応する分野である。

プロピレン用は、製油所におけるFCC装置から生産されるいわゆるFCCプロパンがプロピレン生産用として全量消費されるという特殊要因のため、価格動向とは関連のない固有需要となっている。今後もFCC装置の稼働率は高い水準を維持するものの、ガソリン生産の減少に伴い、同装置に使用する通油量は縮小していくことが予測されるため、需要も徐々に減少していく見通しである。

エチレン用に関しては、平成29年度以降の日本国内におけるエチレン生産量が減少傾向で推移するが、石油化学会社の原料多様化が一定規模で進行すること等により、原料としてのLPガス使用量割合は徐々に増加することが予測され、LPガスの需要は増加傾向で推移することを見込む。

上記エチレン用・プロピレン用に加え、無水マレイン酸等を含めた化学原料用全体としては、平成30年度をピークに増加し、その後はエチレン用の増加が鈍化することやプロピレン用の減少等により、ほぼ横ばいで推移する見通しである。

この結果、平成33年度の需要量は2,878千トンとなり、平成28～33年度の年平均伸び率101.4%を見込む。

電力用

今後の見通しを立てていない。